

# 幼稚園要覧

—おひさまきらきら えがおがいっぱいの なんざんようちえん—

令和2年度



## 園歌

一  
むねの きしよの はとさんは  
おてて つないで あそびます

わたくし たちも げんきよく  
みんな なかよく あそびましよう

たのしい なんざん ようちえん

二  
むねの きしよの はとさんは  
おくち そろえて うたいます

わたくし たちも こえたかく  
みんな なかよく うたいましよう

たのしい なんざん ようちえん

作詞 中村 仁(第四代園長)

作曲 岩波 太郎

《昭和二十九年十二月制定》



## 港区立南山幼稚園

NANZAN KINDERGARTEN

〒106-0046 東京都港区元麻布3-8-15 3-8-15 Motoazabu Minato-ku Tokyo  
TEL 03 (3408) 4785 FAX 03 (3408) 4751

# 沿革概要

昭和 9 初代園長 荒井忠吉 着任  
 3. 28 東京市麻布幼稚園を廃止し、東京市南山幼稚園と東京市麻布幼稚園に分離。  
 9. 4. 1 東京市南山幼稚園設置許可。麻布区宮村町67番地東京市南山尋常小学校内に併設。東京市公立幼稚園33番園長は小学校兼任。保母3名園児97名。  
 10. 2 園旗調製。  
 13. 3. 31 第2代園長 横川佳市 着任  
 18. 5. 31 第3代園長 小林操 着任  
 19. 4. 30 戦時非常措置により休園。  
 21. 5. 8 幼稚園再開。園児22名で出発。開園記念日とする。  
 22. 4. 1 東京都港区立南山幼稚園と改称。  
 26. 12. 25 第4代園長 中村仁 着任  
 29. 12. 8 開園20周年記念祝賀会挙行。園歌制定。  
 34. 4. 1 第5代園長 山西佐久男 着任  
 39. 4. 1 第6代園長 福田武次 着任  
 40. 3. 3 開園30周年記念式典挙行。  
 41. 11. 18 放送教育全国大会（幼・小合同）会場として公開保育を行う。  
 43. 4. 1 第7代園長 本間芳郎 着任  
 47. 4. 1 第8代園長 花村郁雄 着任  
 51. 10. 23 開園40周年記念式典挙行。南山小学校創立100周年の式典と合わせて行う。  
 53. 4. 1 第9代園長 福田稔 着任  
 53. 12. 9 独立園舎落成式挙行。南山小学校と合同で行う。  
 54. 10. 27 港区教育研究協議会の会場として「教育目標と保育」について提案。  
 56. 4. 1 第10代園長 磯崎乙彦 着任  
 59. 5. 12 開園50周年記念式典挙行。  
 61. 4. 1 第11代園長 中野喜久馬 着任  
 63. 2. 2 港区幼児研修会の会場として「自ら進んで活動できる幼児を育てるための指導の工夫」について提案。

平成 1. 4. 1 第12代園長 梅田康夫 着任  
 4. 4. 1 第13代園長 高石章子 着任  
 5. 10. 22 開園記念日を南山小学校と同一日に変更する。  
 6. 11. 22 港区教育委員会研究奨励園研究発表。「豊かに育つ幼児の心をつつめて・一人一人の幼児が充実して遊べる環境の工夫」  
 7. 10. 21 開園60周年記念式典挙行。  
 8. 4. 1 第14代園長 榮健 着任  
 9. 12. 2 港区教育委員会研究奨励園研究発表。「幼児の心をつつめて 教師の心をつつめて」ービデオカンファレンスを通してー  
 12. 4. 1 第15代園長 山越正秀 着任  
 16. 4. 1 第16代園長 茂木三枝 着任  
 16. 10. 21 開園70周年記念式典挙行。  
 20. 1. 25 港区教育委員会研究奨励校・奨励園として南山小学校と合同研究発表。「考える力・伝え合う力を育てる教師の援助～幼児の遊びと生活の中での学びをとらえて～」  
 20. 4. 1 港区立幼稚園・保育園・小学校で合同自主研究。  
 22. 4. 1 第17代園長 神野雅博 着任  
 25. 4. 1 第18代園長 和田京子 着任  
 26. 12. 6 開園80周年記念式典挙行。  
 27. 4 3歳児保育開始 3学級編成  
 28. 4. 1 第19代園長 明田川輝美 着任  
 29. 4. 1 第20代園長 小久保篤子 着任 独立園となる。  
 30. 2. 9 港区教育委員会研究パイロット園・校研究発表会「自ら考え かかわりを深め 豊かな学びを創り出す子どもの育成」～育ちと学びをつなぐ幼小連携カリキュラムの工夫～  
 令和 2. 4. 1 第21代園長 河合晴美 着任  
 南山幼稚園・南山小学校 学校運営協議会 開始

# 園内研究 研究テーマ

自ら考え かかわりを深め 豊かな学びを創り出す子どもの育成  
 ～明日へつながる保育の環境の構成～

大切にしたい  
三つの力

生活する力  
 発見・考え・表現する力  
 かかわる力

幼児期の教育から小学校教育をつなぎ、貫く「三つの力」を設定し、それらを育めるよう工夫しています。



好きな遊び  
 (安心感をもってやりたいことに取り組みます)



自然とのかかわり  
 (小さな生き物とふれあいます)



伝え合い  
 (自分の思いや考えを伝えたり、聞いたりします)

南山小学校と連携した教育活動を進めます



親子おひさま活動  
 (親子でふれあい遊びを楽しみます)



友達との遊び  
 (イメージを共有して遊びます)



小学生との交流活動  
 (互恵性のある交流をしています)



味噌造り体験  
 (地域の方から教えてもらいます)



地域の方との交流を大事にしています

麻布十番商店街や地域への笹飾り届  
 (地域の方とふれあいます)

# 教育目標

人権尊重の精神に基づき、幼稚園・家庭及び地域社会の連携の基に、心身ともに健康で、自ら主体的に遊びや生活に取り組み、よく考え、豊かな学びを創り出す幼児を育成するため、次の目標を設定する。

○げんきな子 ○よくかんがえる子 ○なかよくする子

# 目指す幼稚園像

- 安全で安心な幼稚園
- 幼児が遊ぶことが楽しいと感じ、自己を十分に発揮できる幼稚園
- 保護者・地域とつながり、信頼される幼稚園

# 指導の重点

## 3歳児

- ・教師との信頼関係を基盤に基本的な生活習慣を身に付けられるようにする。
- ・教師や友達に親しみをもち、安心して遊ぶ楽しさを味わえるようにする。

## 4歳児

- ・遊びや生活に必要な習慣を身に付け、いろいろな遊びや活動に進んで取り組めるようにする。
- ・教師や友達との信頼関係を基盤としてのびのびと自分を表し、友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わえるようにする。

## 5歳児

- ・遊びや生活を通して自己を十分に発揮し、繰り返し試したり粘り強く挑戦したりしながら、自信をもって行動できるようにする。
- ・協同的な遊びの体験の中で、互いに認め合ったり、受け止め合ったりしながら、共通の目的を実現できた満足感や充実感を味わえるようにする。